

情報公開 市民参加 市民派無所属
府中市議会議員／会派 市民の風

ゆうきりょう

市政
通信



毎日ブログ更新中

結城りょう



東京都が府中市を新型コロナ感染拡大の「まん延防止等重点措置」地域に指定

指定地域の飲食店は夜8時までの営業、協力金を支給

「まん延防止等重点措置」の適用（4月12日～5月11日）をうけた自治体については、都知事は「飲食店に午後8時までの営業時間短縮やマスク着用の徹底などを要請する」として、その命令に違反すれば20万円以下の過料を科すことができます。また時短要請に応じた飲食店には協力金として、中小企業には売上高に応じて1日4万から10万円を、大企業には減少額に応じて1日最大20万円が支払われるとしています。

ほかにも①不要不急の都道府県間の移動を極力控えるよう知事が要請できる、②知事が飲食店にカラオケ利用の自粛を要請できる、③イベントの入場上限を5千人にできる、④高齢者施設の職員などに感染の有無を頻繁に検査できるなどの施策を行うことができます。

規則に反する飲食店に、市は感染防止策の指導徹底をすべき

先日、市民の方から府中市内のある飲食店の新型コロナ対策の実態について、メールが寄せられたのでご紹介します。

「市内の飲食店に対して抜き打ちで感染症対策がされているのか、保健所もチェックしているようですが、先日私が行ったお店は東京都の『感染防止徹底宣言ステッカー』が貼っていましたが、まず消毒液がありませんでした。台ふきんは、カウンターに1つだけしかなく、お客さんどうしが共有席で、『ぎゅうぎゅう』状態です。パーティションもありませんでした」「その店には今年の夏に行った際も、こうした状態であることに気がつきましたが、先日も行ったら、まったく改善されていませんでした」。

ほかにも府中駅周辺で飲食店を営業されている店主からは「お店によっては、緊急事態宣言中も夜8時で『のれん』はおろしても、店内でその後も営業しているお店がある。そのお店も入口には都の『感染防止徹底宣言ステッカー』は貼っているが、行政としてしっかり指導してほしい」という声もいただいたことがあります。

こうした飲食店に対して行政サイドから、新型コロナの感染拡大防止策を指導しなくてはなりません。都内の自治体によっては区の職員と都の職員が地域の店舗を見て回り、新型コロナ感染拡大防止策の指導を徹底しているところもあります。行政からの決まりを守って、正直に営業しているお店が「損」をするようなことがあってはなりません。引き続き、府中市の新型コロナ対策について、市に緊急要望などしていきます。

府中市の新型コロナのワクチン接種情報…90歳以上の市民に接種券を送付、予約受け付けは4月15日から

府中市では市内の65歳以上高齢者の約6万人のうち、重症化リスクの高い90歳以上の約4600人に接種券を4月9日に発送し、65歳以上89歳以下の市民には、ワクチンの供給態勢が整いしだい接種券を発送予定としています。集団接種については、今のところ5月14日に府中駅前の「プラッツ」で開始を予定しています。

●府中市の新型コロナコールセンター 電話番号：0570-042567

●受付時間：午前9時から午後5時、第2、4土曜日の午前9時から正午

●聴覚障害がある方は、FAX（042-334-5549）までお問い合わせください。

●市内全世帯に府中市から「健康応援ガイド」と「ワクチンニュース第1号」が配布されていますので、ご覧ください。

問い合わせ先…府中市健康推進課 電話042-368-6511 へ

府中市がプレミアム付き商品券の第二弾を検討中…府中市議会

3月の府中市議会の予算委員会において、コロナ後の景気回復策として市は地域経済の回復策のために、今回実施したプレミアム付き商品券の第二弾の実施を検討中であることを明らかにしました（詳細の内容についてはまだ検討中とのこと）。

チケットを早期に現金に換金できるようにしてほしい

地域経済の景気回復策として大いに期待されるのですが、今回実施した教訓をいかすことを改めて、市に要望したいと考えています。1つは市税を投じる以上、前回、チケットを希望したにもかかわらず、購入できなかった方に対する優先度、またチケットを扱う業者の方から強く要望されたのが、現金への早期換金策です。とくにお店を自営される方は、現金商売がなよりの強みであり、メリットであるわけです。それがチケットを扱ったことで、現金に換金するのに1ヶ月以上も経過してしまうのでは、そもそも意味がなくなります。こうした点も改めてほしいものです。前回の反省と教訓を踏まえ、市民から評価される第二弾のプレミアム商品券になることを要望します。



街の話題 分倍河原駅の改良、整備工事と駅周辺の街を再編、道路改良整備を同時に実施

府中市は令和2年1月に「分倍河原駅周辺まちづくり整備計画」を策定し、同駅の再編整備を進めることにしています。この方針の大きな内容としては、分倍河原駅の改良と同時に、駅周辺の再整備が提示され、「商店街および、商業施設のにぎわいの創出で、回遊性の高い駅前空間の形成をめざす」としています。また同駅周辺の自転車ネットワークを確保し、歩行者の安全確保、自転車駐車場の適正配置の展開など利用しやすい駅への改良など、交通基盤の整備を柱としています。



市の方針では、①住まいと商業の複合エリア、②居住環境の保全エリア、③公共公益機能の強化エリア、④業務商業のエリアからなり、市では令和三年度予算案で、分倍河原駅周辺整備事業の測量設計委託料として1億3040万円を計上しています。

新型コロナ感染拡大最中のオリンピック開催で、「安心・安全」「おもてなし」は可能なのだろうか

外国人観光客の受け入れ中止で、東京五輪開催のインバウンド効果が喪失 府中市も東京五輪関連「おもてなし」予算を計上しているが…

府中駅構内にある「東京オリンピック オフィシャルショップ」が閉店に

先日、東京オリンピック・パラリンピックの開催を前にして、気になる光景が目につきました。それは、京王線府中駅の駅ビル、駅東側のショッピングゾーン『ぶらりと京王府中』の2階にある、東京五輪オフィシャルショップが「3月21日をもって閉店した」という張り紙です。インターネットの「JCASTニュース」(3月19日号)によれば、3月16日現在で、全国にあるオリンピックオフィシャルショップの49店が閉店へ、オープンしているのは35店だそうです。東京オリンピック・パラリンピック開催の目的の1つに、この開催を通じてインバウンド効果を期待することもあります。「インバウンド効果」とは、オリンピックの開催を契機に来日する外国人の方々によってもたらされる国内への経済波及効果、消費拡大による景気浮揚などを期待していたわけです。

府中市も五輪関係予算で総額2億5千万円の予算を計上しているが…

府中市もこのような政府の施策にそって、この数年間、東京五輪の成功にむけて数々の施策を打ってきました。令和3年度予算のなかに

も、東京オリパラにむけた外国人観光客誘致関連だけで、市の独自財源として3千万円以上の予算を計上。東京オリパラ関連事業費としては総額2億5000万円以上の予算を計上(国と都からの補助金も含む)しています。

ところが世界は新型コロナ感染拡大というパンデミックに見舞われ、感染拡大は今だ収束を見ていません。こうした最中に、果たして「安心・安全なオリンピックの開催」となるのでしょうか。3月20日には東京五輪について「海外からの一般客の受け入れを断念する方針」が決定され、朝日新聞(3月21日付)ではこれにより、「インバウンド起爆剤 頓挫」「国内消費600億から700億円減となる試算も」と報道しています。つまり当初の目的であった、「インバウンド効果」がなくなってしまったわけです。

こうした状況を鑑みると、いま東京でオリンピック・パラリンピックを果たして、無理に開催しなければならないのでしょうか。開催の先には、どんな未来や展望があるのか。現状でたとえ開催にこぎつけたとしても、なんとも空しい巨大イベントに終わってしまうのではないのでしょうか。少なくとも目的が喪失した予算の市独自財源については、私は市民への新型コロナ感染防止関連予算に回すよう要望したいと考えています。市民のみなさんはどうお考えでしょうか。

府中市の有料ごみ袋の値段引き下げは可能だ！

ごみ減量に協力してきた市民に府中市は還元を

「ごみ改革」以来10年間で約9800トンのごみ減量に市民が協力



の、いきなり全部のゴミを有料化して…せめて、プラごみは無料にしてほしい」というメールをいただきました。

私は府中市の令和3年度の予算要望のなかに「有料ごみ袋の価格の引き下げ、プラごみの無料化」を要望しました。それに対する市の回答は「有料ゴミ袋の手数料については、廃棄物減量等推進審議会で議論されている経過があることから、処理手数料の変更についても同審議会開催に際し、ごみ減量の目標達成の状況や今後の見込みをかんがみ、計画の改定とともに幅広く議論いただきたいと考えています」という回答内容でした。

この有料ごみ袋の値段の問題では、2015年9月議会、私が当時在籍していた共産党議員団が取り上げたことがあります。当時の質疑で府中市は「ごみ改革スタート当時の2010年2月と、2013年の間を年平均ベースにした場合、ごみ改革によって約8億円の財政的貢献がある」と答弁しています。ちなみに、ごみ減量について私は先日、市の担当者に「この10年間で府中市ではどれくらいのごみの分量が減ったのか」とたずねたところ、「9800トン程度の減量となりました」という返答、つまり約1万トン弱のごみの量が市民の協力によって、減らすことができたわけです。

ごみ減量の一番の要因は、ごみの個別収集と市民の協力があってこそ

2015年9月議会の質疑を通じてわかったことは、ごみ改革から5年(当時は2016年)が経た時点ですでに、「ごみ有料化によって3億8000万円の財政的貢献を府中市にもたらされた」と答弁。またこの時の質疑のやり取りから、「府中市の答弁にある、ごみの有料化をしたことによって、ごみ的大幅削減につながった」という認識は事実と違い、ごみ減

量の一番の理由は、2010年の2月まで存在したダストボックスをなくし、ごみの戸別収集に切り替えたことが一番の要因であることもわかりました。つまり市民によるごみ減量への協力があってこそなわけです。

土浦市ではごみ減量の目標達成を理由に、有料ごみ袋の値段引き下げを実施予定

私は今から10年前に都内の23区から府中市に引っ越してきたのですが、府中市のごみ袋の金額の高さに驚いたことを覚えています。市民の立場からすると有料ごみ袋の料金とは、事実上の「税金」的性質をもつものですから、どうしても「痛税感」をとまいます。

府中市も、現在の新型コロナ感染拡大というコロナ禍のなか、家計負担も重くなっている今日、ごみ減量に対する市民の努力の成果に対する還元策という視点から、また市民負担の軽減という点からも、有料ごみ袋価格の引き下げという施策を府中市は講じるべきです。ちなみに茨城県の土浦市では、今年の10月からごみ減量の成功を理由に、ごみ袋の値段引き下げを実施しています。府中市でも可能なはずですよ。



朝の駅頭あいさつについて

私の朝の駅頭あいさつについて、原則、毎朝下記の予定で行っています。駅頭では「市政通信」を配布しています。市政相談、生活相談なども受け付けています。なお雨天時や、自身の都合により中止の場合もあります。お気軽にお声をおかけください。(朝8時まで)

月曜日・西武線多磨駅東口 火曜日・京王線府中駅北口デッキ
水曜日・京王線東府中駅北口 木曜日・西武線多磨駅西口
金曜日・京王線多磨霊園駅

府中市議会議員 結城りょう プロフィール

昭和45年(1970年)5月11日生、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、東京土建組府中国立支部事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員(現在、2期目)。所属する委員会は現在、厚生委員会、基地等跡地特別委員会、公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会、府中市都市計画審議会委員。現在は無所属で一人会派「市民の風」に所属。